

個人(盛岡市立) 本田 V

新体操男子 県勢初の完全制覇

【四国総体取材班】全国高校総合体育大会(インターハイ)は13日、高松市総合体育館で新体操が行われ、本田歩夢(盛岡市立3年、滝沢南中)が合計34・375点をマークし男子個人で優勝を果たし

た。県勢の同種目制覇は2005年の藤田朋輝(盛岡市立3年)以来、17年ぶり。今大会の県勢優勝は初となる。

【詳報15面】

四国総体



本田はクラブで17・175点、スティックで17・200点をマークして種目別でも頂点に立ち、県勢初の「完全優勝」を遂げた。

本田はスティックで速い曲調に合わせてテンポ良くノミミスで最高の演技を披露。続くクラブは、後半に難易度の高い技が連続した

が、豊富な運動量で乗り切った。手具との一体感を保ち、持ち味の「美しい演技」でライバル選手を抑え、栄冠を手にした。



新体操男子個人で県勢17年ぶりの頂点に立った本田歩夢(盛岡市立) =13日、高松市総合体育館

本田は滝沢・鶺鴒小1年時にチャグチャグススポーツクラブ(滝沢)で競技を始め、滝沢南中時代から活躍。全国優勝に「最後のインターハイに懸けていた。大胆にダイナミックに演技を見せることを意識した。今まで全国で結果が残せていなかったが、やっと先生や家族に、いい報告ができる」と喜びをかみしめた。

藤原大貴監督は「スキルの高さはあったが、今まで試合になるとミスがあり点数が伸びずに、何度も悔し涙を流してきた選手。努力を重ねて自分自身のできることに集中し、最大限の力を発揮してくれた。完璧な演技だった」と絶賛した。